

2026年度 経営方針

ミニストップ株式会社

代表取締役社長 堀田 昌嗣

1. 手づくりおにぎり等消費期限の表示不正事案の経緯と販売中止について

全店の1.4%、計25店舗での表示不正が判明
安全・安心を第一に、手づくりおにぎり等の全店での販売を中止



販売中止の判断と、中止後の対応

- ① 8月上旬 一部店舗にて手づくりおにぎり等の表示不正発覚
- ② 8月9日 手づくりおにぎり・弁当 全店販売中止
- ③ 8月18日 店内加工惣菜 全店販売中止
- ④ 8月29日 全店調査完了
- ⑤ 9月1日 記者説明会
- ⑥ 9月～ 本部・加盟店勉強会を全国5か所で開催

2. お客様への対応

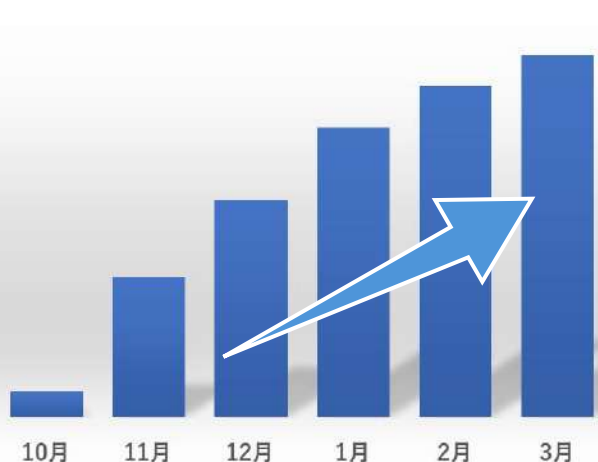
改めて“食の安全・安心ナンバー1”に向け取り組み 販売再開およびコンビニエンスストア商品の品揃え対策を推進

再発防止策

- (1) 定期的なデータ照合（製造/販売/廃棄）
- (2) 社長直轄 品質管理専任担当者によるチェック強化
- (3) 新型ラベル発行機・厨房内カメラの設置と、衛生管理強化の仕組み構築
- (4) 第三者機関による衛生調査の厳格化・統制強化
- (5) 厨房衛生相談窓口（厨房110番）新設
- (6) 加盟店および本部従業員全員対象の再教育（店内加工商品の価値 & 衛生管理の重要性）

食の安全・安心
ナンバー1

手づくりおにぎり 再開 店舗数



コンビニエンス商品 品揃え拡充



3. 加盟店への対応

パートナーシップ契約の理念に基づき、本部の役割を厳粛に実行
- 企業理念やミッションの浸透・衛生教育の実施・店舗経営支援 -

表示不正 25店舗

ミニストップ本部との契約を終了

全店舗

理念・衛生管理の浸透

全国5か所にて実施した「本部・加盟店勉強会」



厨房内カメラ



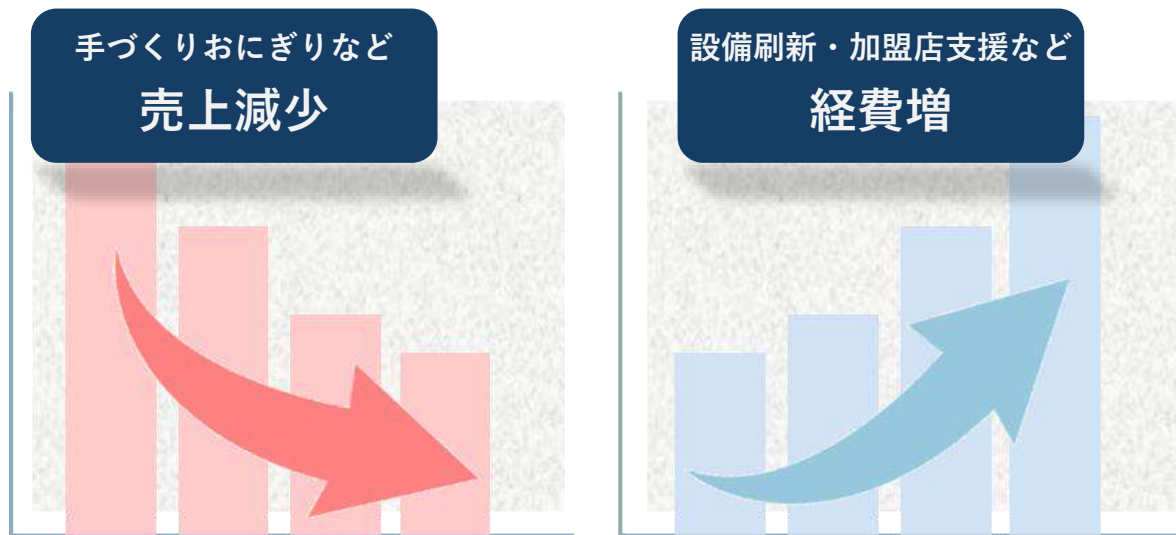
加盟店バックアップ



収益力向上に向け、
店舗運営のサポート体制や
店内作業の在り方の改革を
進める

4. 業績への影響と教訓

二度と「食の安全・安心」への信頼を裏切らない



手づくりおにぎり等
販売中止による
2025年度営業利益 影響額

△37億円



5. 『コンビニストア』のミニストップとして

これからも、ファストフードをミニストップの柱に据える

創業当時のミニストップ店舗



1990年代の発売商品



2000年代の発売商品・店舗



コンビニ

いつでも利用できる！
商品が豊富に揃っている！

+

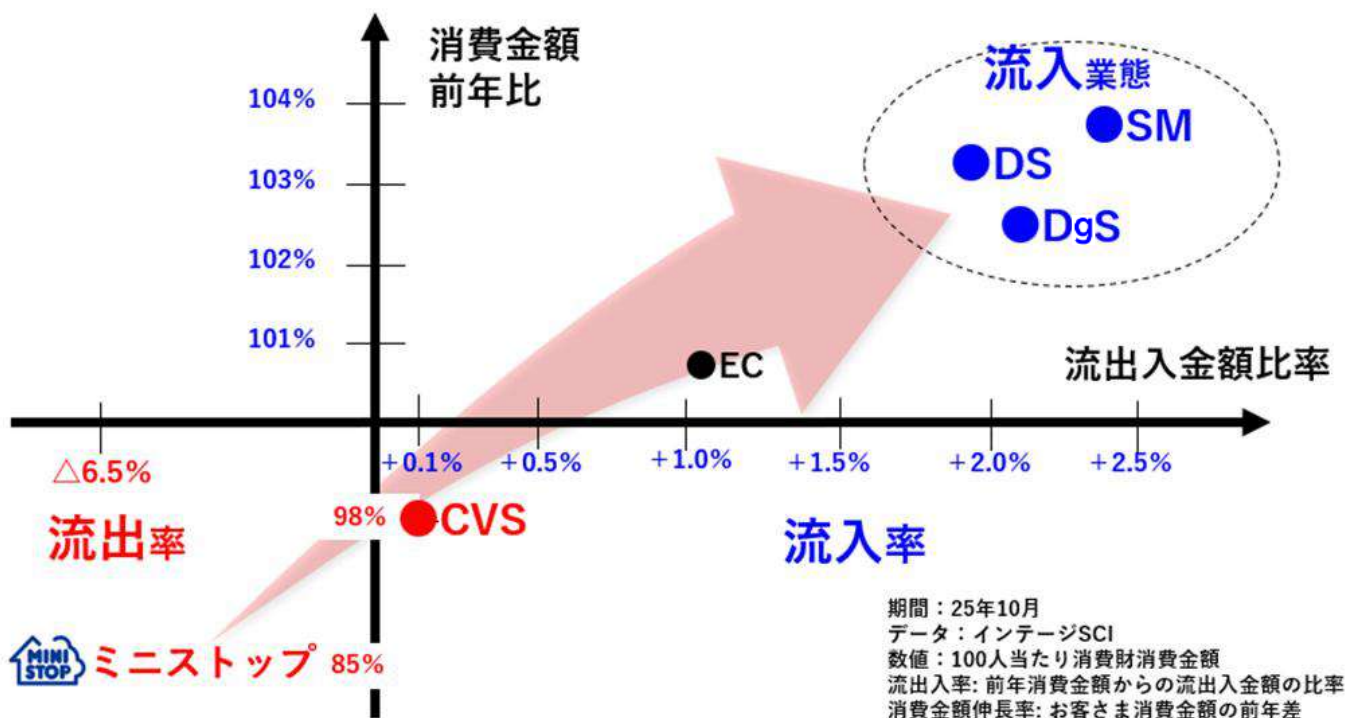
ファストフード

できたてが楽しめる！
その場で食べられる！

6. 外部環境変化

数十年ぶりのインフレ傾向の中、お客さまの選択肢が広がり、CVSは他業態との競争が激化している

自社・業態間 顧客流出入



お客さまの消費金額が前年を上回り、他業態からの流入金額も前年を上回る

- ✓ スーパーマーケット
- ✓ ドラッグストア
- ✓ ディスカウントストア

お客さまの消費金額が前年を下回り、他業態からの流入金額も前年を下回る



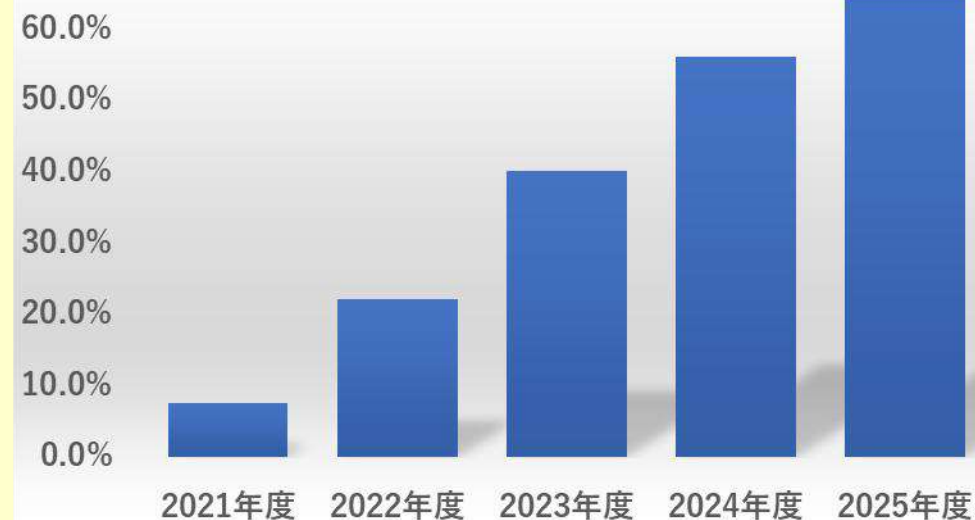
7. 収益構造の変化

パートナーシップ契約店舗は全加盟店の6割を超え、収益構造が変化
コスト上昇に対して、収益力向上が不可欠

ロイヤルティモデル

事業利益分配モデル

パートナーシップ契約店舗率



8. 構造改革と成長戦略

業績改善に向け、足元2年間で事業構造・収益構造改革に取り組む
同時に、成長の基盤となる新たなフォーマットの確立に臨む

2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
構造改革の完遂		成長戦略の推進		
事業構造改革／収益構造改革 <ul style="list-style-type: none">・本部機能の強化、効率化・店舗オペレーション改革・マーチャンダイジング改革 New コンボストアモデル 確立		ミニストップの提供価値をさらに発展 <ul style="list-style-type: none">・既存店の改装・新店出店、リロケート・New コンボストアモデル 展開		

マーケティングを起点に、お客さまの購買行動の変化に対応
- 夕夜間の品揃え強化、惣菜類の拡充、強みのコールドスイーツ -

コンビニエンスストア商品

- ✓ 重点分類を設定
- ✓ お求めやすい価格の商品から、高付加価値商品までのバランス
- ✓ 夕夜間の品揃え強化



FF インストア デリカ

- ✓ 食事需要にお応えする惣菜拡大
- ✓ レジカウンター前のデリケースにて売り込み



FF コールド スイーツ

- ✓ 食材・製法へのこだわり
- ✓ 旬の味わいをお届け



現場の実態を踏まえたオペレーション負荷の削減を推進
AI・デジタル活用による本部機能の強化・効率化に取り組む

オペレーション改革

本部構造改革

誰でも同じ作業が
できる

ワークスケジュール

AIの活用

誰でも同じ仕上がり
になる

作業手順書

本部業務の棚卸



顧客データ基盤

DX
Digital Transformation

店舗支援の強化

11. 職域事業/ベトナム事業

ミニストップ事業に次ぐ、第2・第3の柱として
職域事業とベトナム事業の更なる成長を目指す

職域事業

- ✓ 更なる拡大に向け新商品・サービス開発、
インフラ整備を推進



ベトナム事業

- ✓ カフェや外食の要素を強化した
「ベトナム版 コンボストア」の確立



12. マテリアリティ（重要課題）

マテリアリティに対する取り組みと進捗を定期的に議論し、
ミッションの達成につなげていく

重要
課題

安全・安心でおいしい商品、
便利なサービスの提供

重要
課題

加盟店との
真のパートナーシップ確立

重要
課題

サプライチェーン全体での
環境配慮

重要
課題

強固な事業基盤となる
組織・風土の醸成

重要
課題

一人ひとりが笑顔でやりがい
を持てる職場環境

13. 業績見通し

連結	2025年度 実績	2026年度 計画	前期比
	(百万円)	(百万円)	(百万円 %)
営業総収入	91,788	97,000	105.7
営業利益	△3,610	1,500	+5,110
経常利益	△3,067	1,900	+4,967
当期純利益	△5,630	100	+5,730

ミニストップのミッション

ミッションは、私たちがなすべきもの、使命をあらわしています。

私たちは、

「おいしさ」と「便利さ」で、

笑顔あふれる社会を実現します。



**MINI
STOP**